

記事

[Megumi Kakechi](#) · 2020年11月24日 2m read

サーバー仮想化ソフトウェア上でInterSystems製品を稼働する場合、物理サーバー上での稼働とライセンス上の条件等での違いについて

これは[InterSystems FAQ サイト](#)の記事です。

InterSystemsの製品には同時ユーザー数でライセンスの容量を決定する製品とサーバーのCPUコア数で容量を決定する製品の2種類があります。

同時ユーザー数ライセンスタイプの場合、CPUコア数により使用可能なライセンスのグレードに制限があります。

物理サーバーの場合には、そのサーバーが保持しているCPUコア数の総数をカウントします。

そして、その総数が該当グレードの最大CPUコア数を超えている場合には、その上位グレードを使用しなければなりません。

サーバー仮想化ソフトウェア (VMWare、Hyper-Vなど) を利用する場合には、その仮想サーバーに割り当てられたCPUコア数をカウントします。

同様にその総数が該当グレードの最大CPUコア数を超えている場合には、その上位グレードを使用しなければなりません。

CPUコア数ライセンスタイプの場合、コア数によりライセンスの容量が決まります。

CPUコア数の数え方は、同時ユーザーライセンスタイプと同じです。

物理サーバーの場合は、そのサーバーが保持しているCPUコア数の総数をカウントします。

サーバー仮想化ソフトウェアを利用する場合には、その仮想サーバーに割り当てられたCPUコア数をカウントします。

【関連情報】 (コミュニティ/FAQトピックをリンクしています)

[インターシステムズデータプラットフォーム製品のライセンスポリシーについて](#)

[Cacheライセンスのコア数制限について](#)

[#システム管理](#) [#ヒントとコツ](#) [#Cache](#) [#Ensemble](#) [#InterSystems IRIS](#) [#InterSystems IRIS for Health](#)

ソースURL:

<https://jp.community.intersystems.com/post/%E3%82%B5%E3%83%BC%E3%83%90%E3%83%BC%E4%BB%A%E6%83%B3%E5%8C%96%E3%82%BD%E3%83%95%E3%83%88%E3%82%A6%E3%82%A7%E3%82%A2%E4%B8%8A%E3%81%A7intersystems%E8%A3%BD%E5%93%81%E3%82%92%E7%A8%BC%E5%83%8D%E3%81%99%E3%82%8B%E5%A0%B4%E5%90%88%E3%80%81%E7%89%A9%E7%90%86%E3%82%B5%E3%83%BC%E3%83%90%E3%83%BC%E4%B8%8A%E3%81%A7%E3%81%AE%E7%A8%BC%E5%83%8D%E3%81%A8%E3%83%A9%E3%82%A4%E3%82%BB%E3%83%B3%E3%82%B9%E4%B8%8A%E3%81%AE%E6%9D%A1%E4%BB%B6%E7%AD%89%E3%81%A7%E3%81%AE%E9%81%95%E3%81%84%E3%81%AB%E3%8>

[1%A4%E3%81%84%E3%81%A6](#)